

米のブランド力向上を目指して

福島県「うまい米」決定戦

町民5名が受賞

令和8年に開催する「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」in須賀川岩瀬に向けたプレ大会を11月16日(日)、須賀川市民交流センターにて開催しました。

本大会は、福島県産米のさらなる食味、品質、ブランド力の向上を目的として開催され、県内合計279点(鏡石町からは36点)出品があり、審査されました。

当日は、事前の機械審査を通過したお米20点を審査員18名により、香りや粘りを評価する官能審査が実施され、鏡石町からは、5名の方が受賞しました。

なお、来年12月5日、6日の両日には、本大会が開催されます。

今回出品された方をはじめ、来年度の出品を引き続きよろしくお願いします。



受賞者(品種)

金賞：圓谷 正幸(ゆうだい21)
金賞：和田 和久(コシヒカリ)
優秀賞：添田 孝夫(コシヒカリ)
優秀賞：鵜沼 宏則(にじのきらめき)
優秀賞：根本 洋志(コシヒカリ)



金賞を受賞した圓谷さん(左)と和田さん(右)

マイコス試験栽培米刈り取り 農作業の省力化に向けて

マイコス DDSR 試験栽培に係る刈り取りが、11月4日(火)、試験圃場(川崎町188番、189番)で協力委員含む農業委員12名により実施されました。

今回栽培を行った「天のつば」と「ひとめぼれ」は播種時期が遅かったことや除草があまり効かなかったことなどにより思うように収量が取れませんでした。給水削減や農作業の省力化へつなげる第一歩となりました。



コンバインで刈り取りを行う稲田貴夫さん

相互応援協定締結 クマ出没時に備え

近年のツキノワグマ出没増加及び鳥獣被害対策実施隊の高齢化や担い手不足による減少の対策として、近隣する須賀川市、天栄村とクマ出没時における相互応援協定を11月16日(日)に締結しました。

この協定の締結により、隊員の確保や、クマが出没した際に三市町村が一体になり、機動的かつ迅速に捕獲等につなげることが可能となりました。



協定書を掲げる三市町村長と後列各市町村鳥獣被害対策実施隊長

唱歌「牧場の朝」のつどい 町民参加型のコンサート

唱歌「牧場の朝」を顕彰する音楽イベントが、10月26日(日)に町健康福祉センターで開催されました。

第1部では、琴人の飛田立史さんによる中国伝統楽器「古琴」の演奏が披露され、第2部では、「声の魔法で旅する音楽の時間」と題したオペラガラコンサートが開かれました。このコンサートは体験型オペレッタとなっていて、有志の子どもたちも参加しました。



オペラガラコンサート「オズの魔法使い」聞き入る観客

ゴルゴ松本さん招き文化講演会 「命」テーマに熱く語る

町文化講演会が10月26日(日)、町健康福祉センターで開かれ、お笑いコンビTIMのゴルゴ松本さんが講演しました。

ゴルゴ松本さんは「命の授業」をテーマに、身体の真ん中にある「心」は人生を方向づけるものであり、自分の心の声を大切にしなければいけないと話し、会場に集まった約400人の参加者が真剣に耳を傾けていました。



命の大切さについて話すゴルゴ松本さん

鏡石駅伝・ロードレース大会 元気いっぱい 健脚競う

第19回鏡石駅伝・ロードレース大会が11月2日(日)に鳥見山競技場をスタート・ゴールに行われ、1,488名の参加者が秋晴れの下で健脚を競い合いました。

今回は駅伝1部門、ロードレースは親子の部をはじめ20部門で行われ、ゲストランナーの田母神一喜選手(ⅢF代表)とともに、子どもから年配の方まで多くのランナーたちが熱い走りを見せました。



元気に駆け抜ける親子の部参加ランナー

令和7年度「秋の文化祭」 多くの来場者で賑わう

秋の文化祭が10月19日(日)の文化芸能祭をスタートに、25日(土)から26日(日)には町生涯学習文化協会加盟団体や一般参加者による作品展示、11月2日(日)は囲碁大会、9日(日)には将棋大会が開催されました。

文化芸能祭では、加盟文化芸能団体による歌や踊りなどが繰り広げられ、また、展示の部には書道・絵画等の作品1,328点が出品され、多くの方々が来場されました。



展示された作品を観覧する来場者